

おおもとウィメンズクリニックレター

Vol.7 7周年記念版

私らしさ

医療者の幸せ

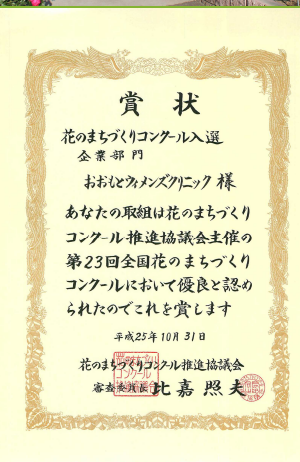
院長 大本裕之

2007年の開院以来、診療所が明るく、癒やされた空間となるように“思いやり・優しさ・助け合い”の精神でばらを愛し育てる心、福山の「ローズマインド」に共感してばらを育成しています。この花壇が第23回(2013年)全国花のまちづくりコンクール(提唱 農林水産省・国土交通省)で入選しました。大きな誉れ、幸せと思っています。同時にこの7年間、患者さま、クリニックを応援してくれる皆様、思いを共有してくれる職員に支えられて私たちのクリニックは目指した理念「すべての女性のためのホームドクター」に向けて少しずつ歩んでいけると確信しています。イラン中世の教養物語、『薔薇園』にばらの美徳は一緒にいる土にもおよぶ、とあります。8年目のクリニックは今までもまして患者さまのニーズに応じた診療を心がけて、皆様の心と体の健康に少しでも寄与できるように職員一同研鑽して医療の質を高めたいと思います。そして皆様がばらのように美しく輝き、それがクリニックにおよべば私たちにとってこの上ない幸せです。

副院長 大本佳恵

この1年間を振り返って、まず皆様にお詫びをしなければなりません。それは私自身の健康上の問題で、昨年5月下旬から約1ヶ月間、休診せざるを得なかったことです。院長はもちろんスタッフの皆、そして何より、患者様には大変御迷惑をおかけしましたこと、本当に申し訳なく思っています。そして、復帰後は今まで以上に頑張るぞと張り切っておりましたが、なかなか気持ちと体が付いていかないこともあり、私自身、不本意な時間を過ごしていたこともありましたが、そんな中での2度のラジオ出演、そして備後エリアで最も有名な情報誌への掲載、公立高校への性教育講演などさせていただきました。そうやって、クリニックから一歩離れて、私の産婦人科医らしさを表現することができたことは、これからの大きな自信につながりました。「女性医師 大本佳恵」という特権も使えるだけ使ってみてもいいのかな…と。

でも私の城である仕事場は、紛れもなくこのクリニックです。今頑張ってくれているスタッフと一緒に仕事することが何よりの「私らしさ」を表現できる場所です。今までであったという間にこられたのも「おおもとウィメンズクリニック」を盛り立てて下さるすべての方のお陰です。この1年もどんな風に過ぎていくのか、どんな方との出会いがあるのか楽しみにしながら、私らしく診療に邁進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



中 国 薬 科 福 山 2013年(平成25年)11月19日(火曜日) 東 地 域 (24)

福山の医院が入選

バラの庭 スタッフ丹精

全国花のまちづくりコンクール(提唱 農林水産省・国土交通省)で入選しました。大きな誉れ、幸せと思っています。同時にこの7年間、患者さま、クリニックを応援してくれる皆様、思いを共有してくれる職員に支えられて私たちのクリニックは目指した理念「すべての女性のためのホームドクター」に向けて少しずつ歩んでいけると確信しています。イラン中世の教養物語、『薔薇園』にばらの美徳は一緒にいる土にもおよぶ、とあります。8年目のクリニックは今までもまして患者さまのニーズに応じた診療を心がけて、皆様の心と体の健康に少しでも寄与できるように職員一同研鑽して医療の質を高めたいと思います。そして皆様がばらのように美しく輝き、それがクリニックにおよべば私たちにとってこの上ない幸せです。

全国花のまちづくりコンクールの初入選を喜ぶ 大本院長と佳恵副院長

受け、看護士全スタッフ、手入れを続け、都市緑化機構などでつくるコンクール推進協議会が写真や書類で審査、地域に親しまれている点を評価して、このコンクールに参入した。福山は、(東谷和幸)

ばらはクリニックのシンボル



〒720-0832 福山市水呑町 4447

TEL: 084-920-5155

<http://www1.megaegg.ne.jp/~ohwc>

2013 年度 クリニックのデータ

2013 年は新規登録患者様 1299 人、のべ 12927 人の患者様に来院いただきました。例年同様に受診理由の多くは“ロコミ”でした。今なお敷居が高い婦人科ですが、クリニックネットワークが定着して当院がこの地域に認められてきたことを嬉しく思います。子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患の多くは倉敷成人病センターの腹腔鏡下手術により患者様の QOL を保ちながら治療がなされました。悪性疾患は福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院、倉敷成人病センター様などと病診連携をはかり子宮頸部高度異形成および上皮内癌 18 名、浸潤子宮頸がん 2 名、子宮体がん 1 名、卵巣がん 2 名の患者さまが適切な医療を受けることが出来ました。院内検査・治療はヒステロファイバースコープ（子宮鏡）検査 19 名、子宮鏡を併用した日帰り手術は 6 名、子宮温存希望の上皮内癌を含めた 3 名に円錐切除術をおこないました。不妊症に対しては子宮卵管造影検査を 29 名に行い、排卵誘発、タイミング法、人工授精までしか扱っていませんが、ストレスが大きくかからないような診療に配慮しています。高度生殖補助医療は倉敷成人病センター等と連携を図り、よい成績を収めています。L E P 製剤（低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬：月経困難症治療薬およびピル）は月平均 384 シート処方して多くの女性の生活改善に役立っていますが、まれな血栓症に対して厚生労働省、学会の注意に従って適正使用を行っています。代替医療としてのアロマセラピー・エステはのべ 133 回施術を行いました。特筆されるのは広島県東部で初めて開設したリンパ浮腫外来で乳癌、子宮癌などの患者数が増加し、のべ 153 回の施術を受けられ、癌治療後の患者様の Q O L の改善を図っています。



スタッフより

看護師

今年で開院 7 周年になります。玄関を入れば笑顔で対応の受付、診察室に入れば適正な診療をする医師、それを介助する看護師たち。このチーム力がどんどん強まっています。今後もこの力を築き上げ、患者様の力になれますよう努めてまいります。

看護師

婦人科の看護師の役割は、まず受診される患者様の安心感を一番大切にすることだと思います。デリケートな部分の疾患を取り扱うだけに女性にとっではできるだけ受診を避けたい診療科でもあります。常に責任感を強く持ち、同じ女性として患者様の気持ちに寄り添うことができるように努めてまいります。

看護師

婦人科の看護師は患者様の不安を取り除くことが大切だと思います。私自身、婦人科受診は検診の必要性を知りながらも抵抗があり、ここに就職するまでは受けていませんでした。私の経験を元に患者様の気持ちを第一に考え、安心して受診できる看護をめざしていききたいと思います。

医療事務

新しく来院された多くの患者様に、ロコミで受診したと声をかけていただくことが増え、大変うれしく思います。本年も患者様に安心して診療を受けていただけるよう、丁寧かつ迅速な対応を心がけてまいります。

医療事務

クリニックの一員となり 2 年が経ちました。婦人科に関する様々な不安や悩みを抱えて来られる患者様が帰る際に、「来てよかった」「また来たい」と声をかけてくださることに、仕事の遣り甲斐を感じます。これからもクリニックの顔として患者様の不安を少しでも取り除けるような対応を心がけていきたいです。

エステティシャン・リンパ浮腫指導技能者

昨年の 7 月、ドバイに行き、砂漠の上を素足で歩いた時、今生かされている喜びが胸の奥深いところから一気にこみ上げてきました。心の病も身体の病も完治をゴールとするならば、治療の選択肢は幅広いものだと思います。身体に優しい医療を願い、希望を捨てず、患者様とともに乗り越えていきます。